

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)および鎮静剤使用の説明書

検査目的

胃カメラを用いて食道、胃、十二指腸を観察し、潰瘍、がん、炎症などを発見するのが目的です。

検査方法

鼻もしくは口から胃カメラを挿入し、食道、胃、十二指腸を観察します。

病気があれば、青い色をつける検査や、組織を顕微鏡で見る検査を追加します。

偶発症

偶発症で重要なものは、薬剤によるショック、出血、穿孔(穴が開くこと)です。

1. 咽頭麻酔薬や鎮痙剤によるアレルギーやショックなどの偶発症は
0.00055%(100万人に5.5人、死亡例もあり)ときわめて少ないですが報告されています。
2. 出血や穿孔などが0.005%(10万人に5人)、死亡例は100万人に1.9人の頻度と報告されています。
血をさらさらにする薬は継続してください。
休薬した場合のリスクの方が高いと現在考えられています。

鎮静剤に関して

静脈から軽い麻酔剤を入れ、検査中の苦痛を幾分緩和した状態で検査を行います。

以下の注意事項をお守りください。

- ・ 検査後、車の運転や急ぎの予定などを入れないでください。(検査後、ベッドで休んでいただきます)
- ・ 検査当日は、公共交通機関を使用してお来院ください。
- ・ ネイルはご遠慮ください。(酸素飽和度の測定ができなくなります)

麻酔剤による副作用

1. 精神神経系(めまい、脱力感、幻覚、興奮、傾眠、頭痛)
2. 循環器系(血圧低下、血圧上昇、不整脈)
3. 呼吸器系(無呼吸、呼吸抑制)
4. 過敏症(アナフィラキシーショック、発疹、発赤) など

ご注意

1. 午前中検査の方は、検査前日の夕食までは普通にとり、夜10時以降は何も食べないでください。

★水、お茶、スポーツドリンクは、夜10時以降も検査直前まで制限はありませんので、自由にお飲みください。

★薬は、起床時に多めの水で飲んでください。糖尿の薬はやめてください。

鼻 [] 口 []
鎮静剤 [あり ・ なし]

胃内視鏡検査(胃カメラ)の費用に関して

3割負担で計算しています。1割負担の患者様は3分の1程度です。経鼻、経口内視鏡ともに同料金です。
麻酔薬や鎮痙剤により多少変わります。

①観察のみ	5,000円前後
②観察および組織検査、病理検査	9,000円前後

検査時に採血や検査後のお薬の処方などある場合は、約14,000円程度ご用意ください。

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)および鎮静剤使用の同意書

上部消化管内視鏡検査および鎮静剤使用につき上記説明を理解しました。
その上で処置の実施を希望します。
尚、上記処置にあたり、緊急の場合、または医学上の必要がある場合は、他の必要な処置も受けることに同意します。

_____ 年 月 日 患者氏名

かんだクリニック
院長 神田 啓太郎